

4 区長アンケート調査の実施

地域の公共交通の現状を把握している 55 区の区長に対し、地区住民の意向を広範囲に把握するため、区長アンケート調査を実施する。

4.1 調査概要

4.1.1 実施概要

(1) 配布対象者

対象者は、名護市内における行政区（55 区）の区長とする。

(2) 配布・回収方法

配付および回収は、配布対象者に対し直接配布・郵送回収を行う。

このうち、配布については、各支部区長会において、調査票(1 通)を封入した調査用封筒を、各配布対象者に手渡すこととしている。

(3) 調査期間

調査期間は、区長会での調査票の配布日～10 月 30 日（月）とする。

※実際には、11 月 24 日（金）回収分までを対象としている。

表 4-1 調査票の配布日

支部	調査票の配布日
久志地区	10 月 5 日（木）
屋部地区	10 月 10 日（火）
屋我地地区	10 月 16 日（月）
羽地地区	
名護地区	

4.1.2 配布数・回収数

配布数（55票）に対し、回収数は40票、回収率は72.7%となっている。

表 4-2 住民ニーズ調査票の配布・回収状況

	配布数	回収数	回収率	備考
名護地区	15	10	66.7%	
羽地地区	15	10	66.7%	
屋部地区	7	3	42.9%	
久志地区	13	9	69.2%	
屋我地地区	5	5	100.0%	
合計	55	40	72.7%	区名不明分(3通)を含む

名護市の公共交通に関する区長アンケート調査

※地域の代表としてご記入をお願いします

区名 _____ 区 (区名をご記入ください)

お住まいの地域の交通状況についてお聞きします

Q1 住民の方がよく利用する施設はどこですか。下表に示す分類ごとに、番号または具体的な施設名をご記入ください。

分類	選択肢 (施設) ★	回答欄 ※番号または具体的な施設名を記入
行政施設	①市役所, ②屋部支所, ③屋我地支所, ④羽地支所, ⑤久志支所	
医療・福祉施設	⑥県立北部病院, ⑦北部地区医師会病院, ⑧勝山病院, ⑨北部保健所, ⑩労働福祉センター, 介護老人福祉施設(⑪かりゆしぬ村, ⑫桃源の郷, ⑬あけみおの里), ⑭その他病院	⑭は病院名までご記入ください
商業施設	⑮イオン, ⑯サンエー(為又等), ⑰マックスバリュ, ⑱かねひで(宮里等), ⑲JA ファーマーズ・マーケットやんばる, ⑳Aコープ(モール)	⑰・⑱は店舗名までご記入ください
学校教育施設	⑳名桜大学, 高校(㉒名護高校, ㉓名護商工高校, ㉔北部農林高校, ㉕沖縄工業高専), ㉖中学校, ㉗小学校	㉖～㉗は学校名までご記入ください
文化・スポーツ施設	㉘市民会館, ㉙中央公民館, ㉚その他公民館, ㉛児童センター, ㉜中央図書館, ㉝博物館, ㉞自然植物公園(ネオパーク), ㉟21世紀の森公園(市営球場, ビーチ, あけみお SKYドーム, 体育館等), ㊱陸上競技場, ㊲B&G 海洋センタープール	
その他の公共施設	㊳名護警察署等	施設名をご記入ください
その他	㊴道の駅許田, ㊵羽地の駅, ㊶わんさか大浦パーク, ㊷銀行, ㊸郵便局, ㊹その他	㊴～㊹は、施設の名称・店舗名までご記入ください

Q2 地区の中で、「〇〇へ行くには公共交通が不便」という住民の方の声がある、または、そう思う地域はありますか。

1 ある 2 ない

「1 ある」とお答えの場合には、

- ①どこへ行く際に不便か (目的地の施設名)
- ②なぜそのように思うのか (理由)

についても、下表にご記入ください。

※「①目的地の施設名」は、Q1の「選択肢 (施設) ★」からお選びいただくか、施設名をご記入ください。

「②理由」は、以下の選択肢からお選びください。

【「②理由」の選択肢★★】

- | | |
|------------------------------------|---------------------|
| ①運行間隔が長い (運行本数が少ない) から | ②始発時刻が遅い/終発時刻が早いから |
| ④バスの運行ルート、運賃等の情報がわからないから | ③段差など乗り降りが大変だから |
| ⑦住んでいる所からバス停まで遠いから | ⑤乗車時間が長いから |
| ⑨バス停に雨よけやベンチがないから | ⑥乗り換え時の待ち時間が長いから |
| ⑪自転車・バイク (原付)・自転車を
使うより時間がかかるから | ⑧運賃が高いから |
| | ⑩買い物などで荷物があるから |
| | ⑫目的地の近くまで行けるバスがないから |
| | ⑬その他 |

	①どこへ行く際に不便か (目的地の施設名) ※Q1「選択肢 (施設) ★」から選択 または施設名を記入	②なぜそのように思うのか(理由) ※上記「②理由」の選択肢★★から番号 を選択。⑬は具体的に記入。
記入例	① (市役所を選択)	⑦ (住んでいるところからバス停まで遠いからを選択)
回答欄		

図 4-1 区長アンケート調査票 (1 ページ)

公共交通の利用促進策についてお聞きします

Q3 どのようにすれば、公共交通の利用が増えると思いますか。

①公共交通サービスの改善により、利用が増えそうな施設と、②利用が増えるとお考えになる方法（利用促進策、選択肢から選択）をご記入ください。

※「②利用促進策」は、以下の選択肢からお選びください。

【「②利用促進策」の選択肢★★★】

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| ①運行間隔を短く（運行本数を多く）する | ②始発時刻を早くする/終発時刻を遅くする |
| ③段差をなくすなど乗り降りしやすくなる | ④バスの運行ルート、バス停、乗り換え等の情報やすくする |
| ⑤乗車時間を短くする | ⑦バス停をきめ細かく配置する |
| ⑥乗り換え時の待ち時間を短くする | ⑨バス停に雨よけやベンチをつくる |
| ⑧運賃を安くする | ⑪運転手のサービス・マナーを向上させる |
| ⑩乗りたいバスの現在位置がわかるようにする | ⑫公共施設や集客施設の近くまで行くバスを走らせる |
| ⑬その他 | |

	①利用が増えそうな施設 (施設名) ※Q1「選択肢(施設)★」から選択 または施設名を記入	②利用が増えると思われる方法 (利用促進策) ※上記「②利用促進策」の選択肢★★★から 番号を選択。⑬は具体的に記入。
記入例	① (市役所を選択)	⑦ (バス停をきめ細かく配置するを選択)
回答欄		

Q4 観光や産業振興等の連携により公共交通の利用が増えると思われる方策はどのようなものが考えられますか。

記入例 : 観光施設の割引券とセットになった乗車券を販売する。

○名護市の公共交通の問題点・改善要望等について、ご自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

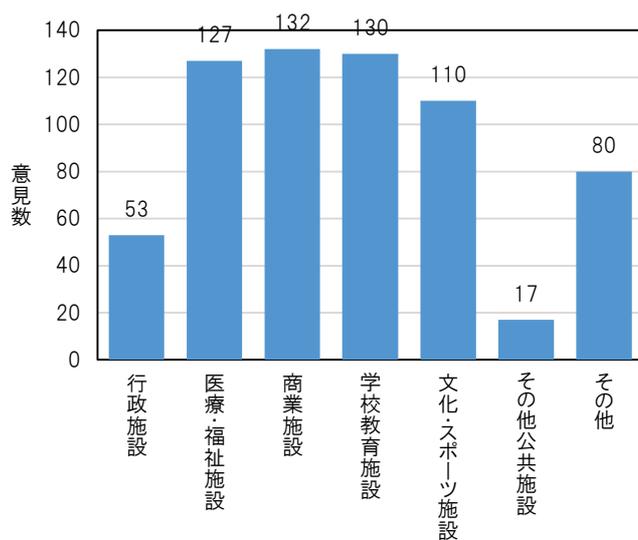
図 4-2 区長アンケート調査票 (2 ページ)

4.2 調査結果

(1) よく行く施設

1) よく行く施設(施設分類別)

よく行く施設を施設分類別にみると、商業施設が最も多く（132 サンプル）、次いで学校教育施設（130 サンプル）、医療・福祉施設（127 サンプル）、文化・スポーツ施設（110 サンプル）となっている。



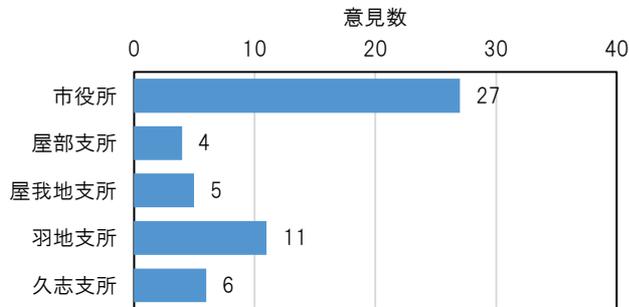
※複数回答

図 4-3 よく行く施設

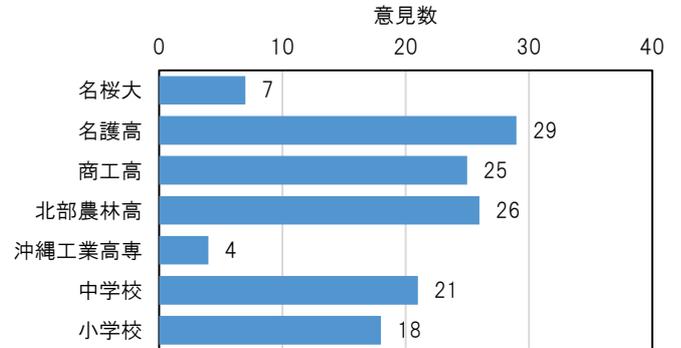
2) よく行く施設(個別施設別)

施設分類ごとに、その内訳をみると、県立北部病院と北部地区医師会病院が最も多く（いずれも 32 サンプル）、次いでサンエー（30 サンプル）、沖縄県立名護高等学校、市民会館（いずれも 29 サンプル）となっている。

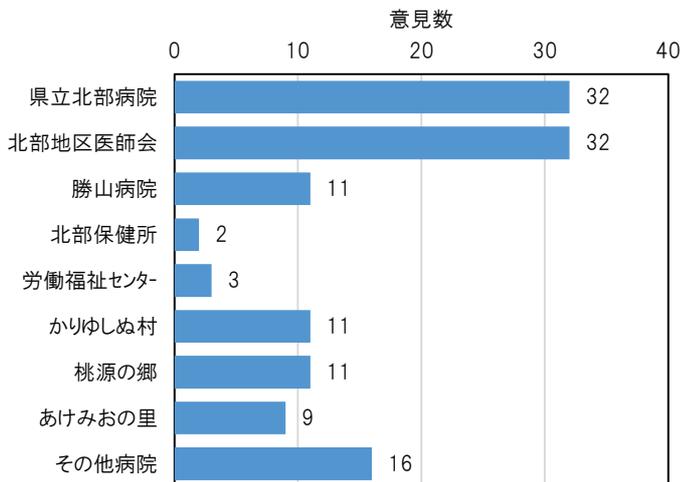
【行政施設】



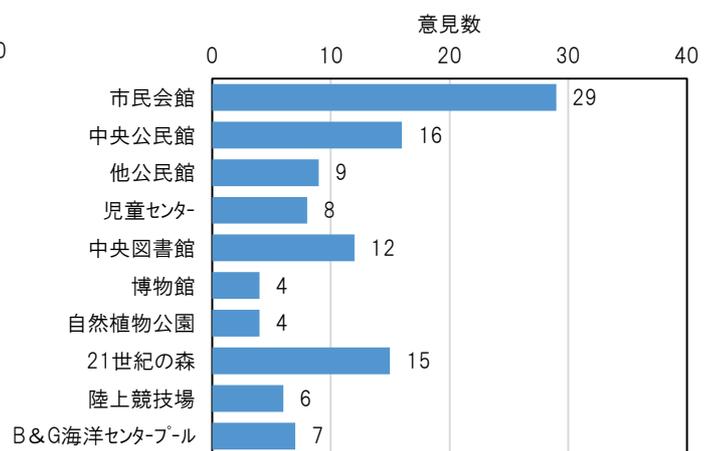
【学校教育施設】



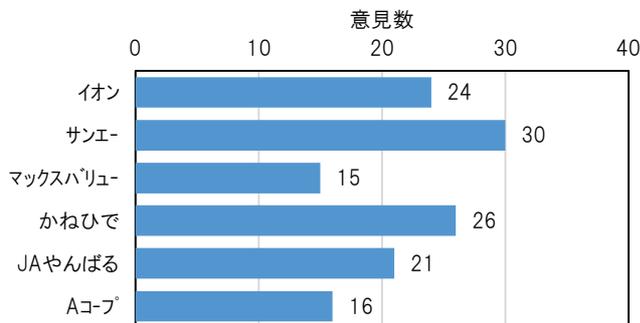
【医療・福祉施設】



【文化・スポーツ施設】



【商業施設】



※複数回答

図 4-4 よく行く施設(個別施設別)

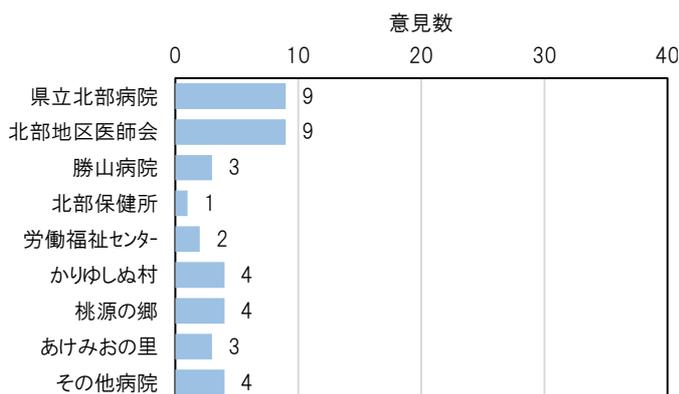
3) よく行く施設(施設分類別・地区別)

①. 医療・福祉施設

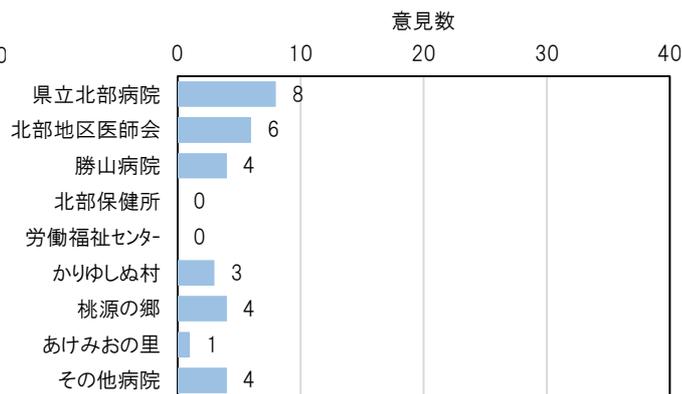
医療・福祉施設について、よく行く施設を地区別にみると、いずれの地区でも県立北部病院、北部地区医師会病院が最も多く、勝山病院についても、概ねこれらに次いで多くなっている。

また、かりゆしぬ村や桃源の郷、あけみおの里についても、いずれの地域でも一定の利用が認められる。

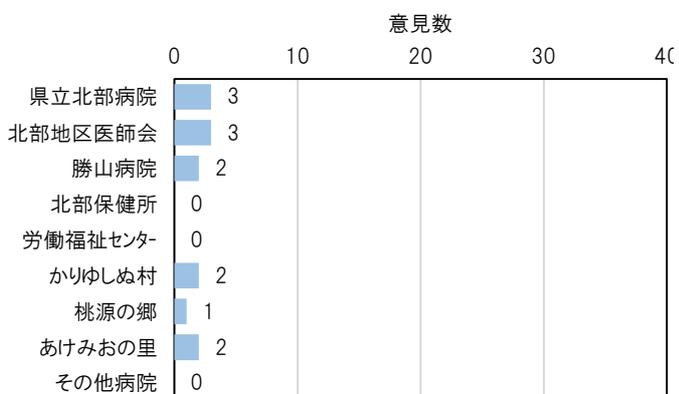
【名護地区】



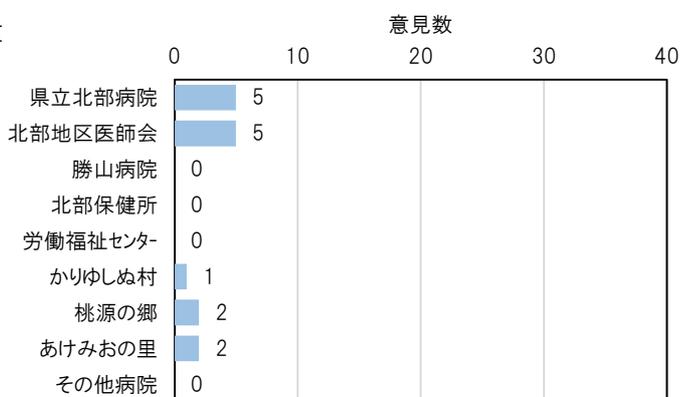
【羽地地区】



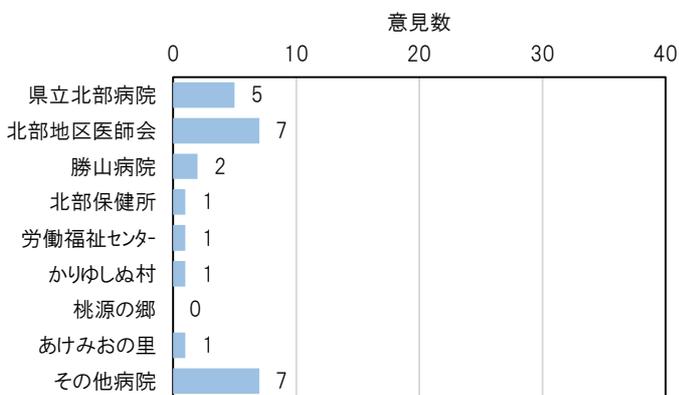
【屋部地区】



【屋我地地区】



【久志地区】



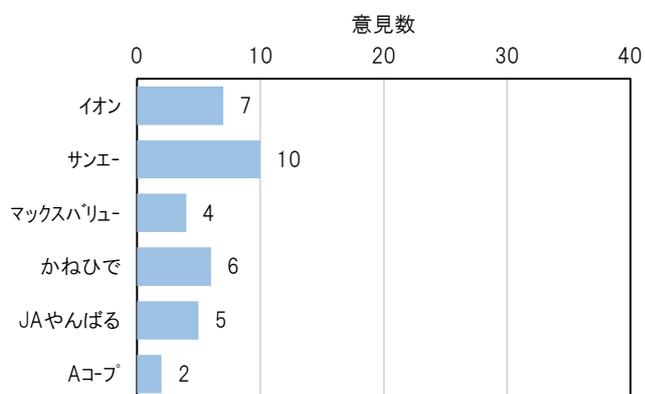
※複数回答

図 4-5 よく行く施設(医療・福祉施設)(地区別)

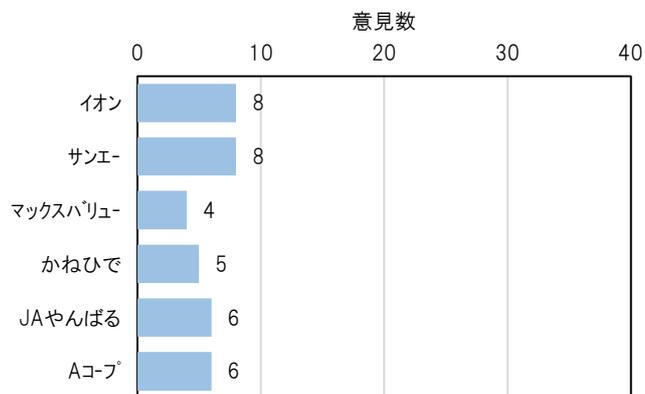
②. 商業施設

商業施設について、よく行く施設を地区別にみると、名護地区や羽地地区、久志地区では、イオンやサンエー、かねひで、JA やんばるの利用が認められる。また、羽地地区のほか、屋我地地区でも、A コープの利用が多くなっている。

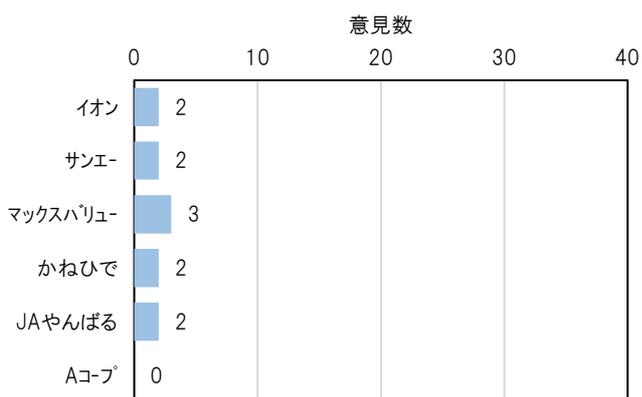
【名護地区】



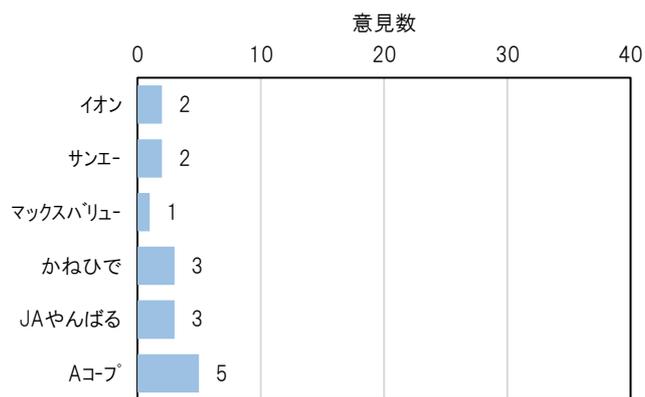
【羽地地区】



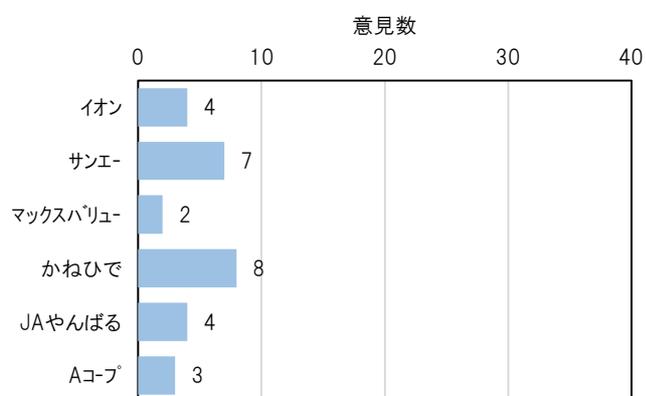
【屋部地区】



【屋我地地区】



【久志地区】



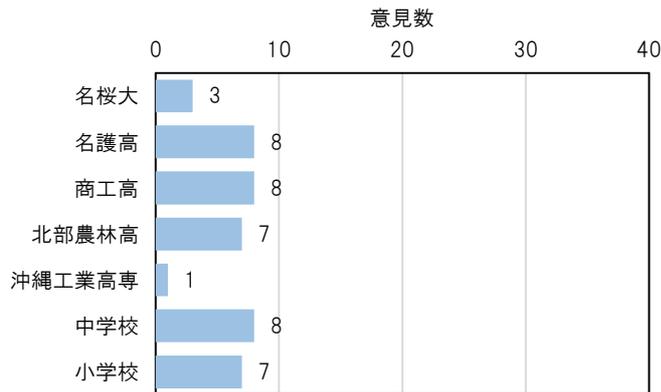
※複数回答

図 4-6 よく行く施設（商業施設）（地区別）

③. 学校教育施設

学校教育施設について、よく行く施設を地区別にみると、いずれの地区においても沖縄県立名護高等学校や沖縄県立名護商工高等学校、沖縄県立北部農林高等学校への利用が多くなっている。名桜大学や国立沖縄工業高等専門学校については、上記3高校に比べると少ないものの、一定の利用が認められる。さらに、屋我地地区を除き、いずれの地区においても中学校や小学校の利用が認められる。

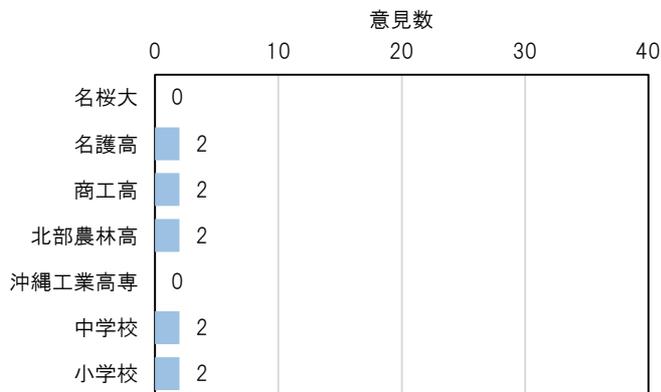
【名護地区】



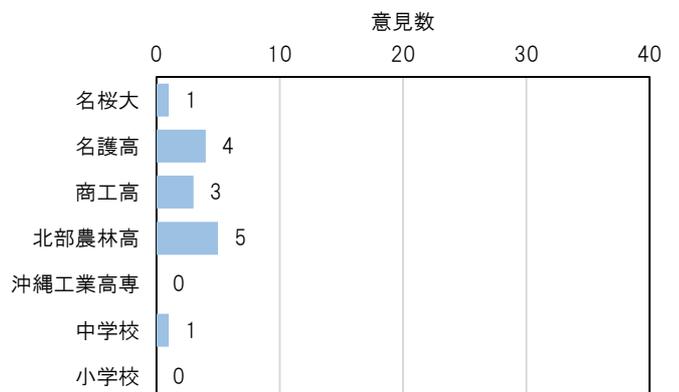
【羽地地区】



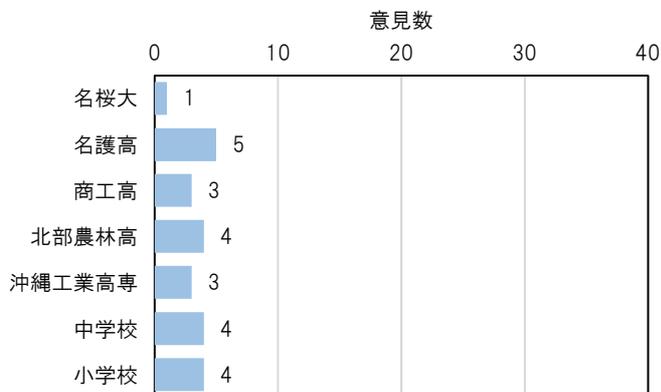
【屋部地区】



【屋我地地区】



【久志地区】



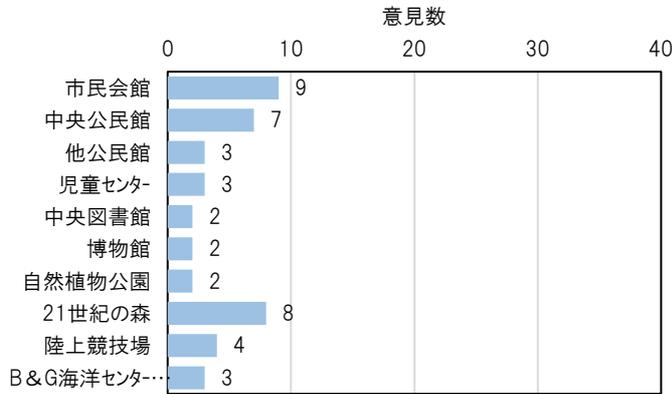
※複数回答

図 4-7 よく行く施設（学校教育施設）（地区別）

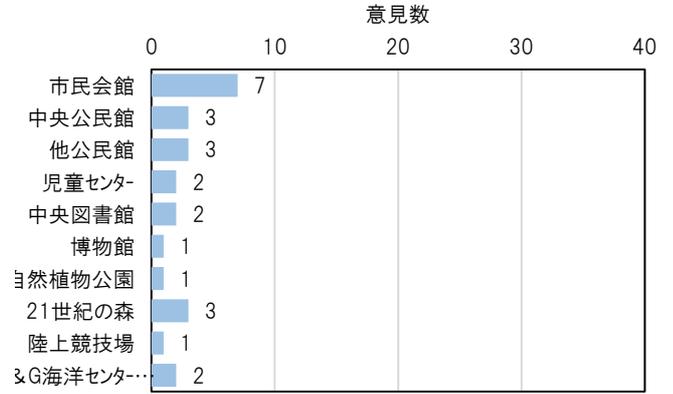
④. 文化・スポーツ施設

文化・スポーツ施設について、よく行く施設を地区別にみると、いずれの地区でも市民会館や21世紀の森の利用が概ね最も多くなっている。これに次いで、中央公民館や中央図書館などの利用も多くなっている。

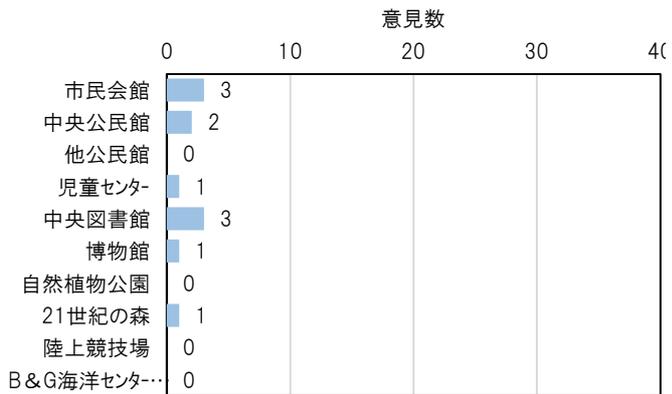
【名護地区】



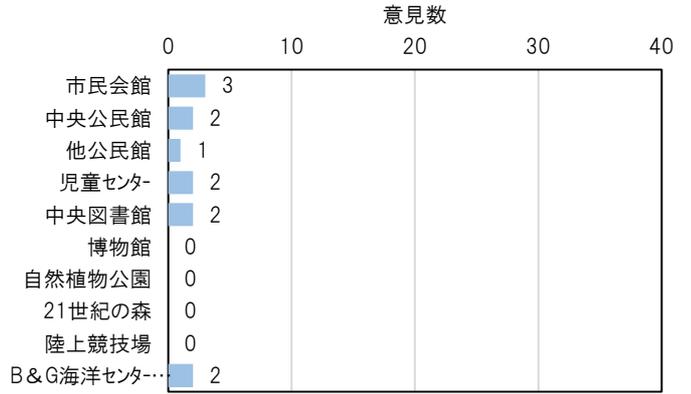
【羽地地区】



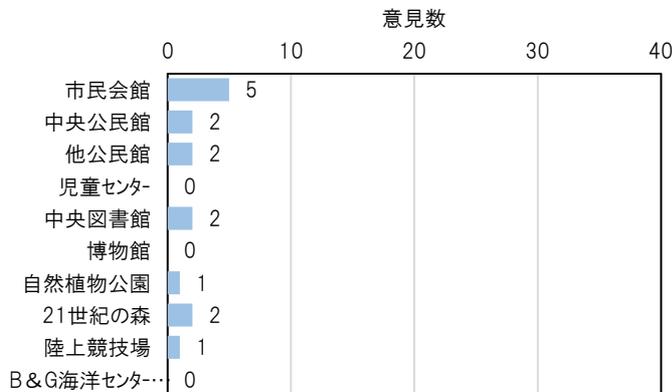
【屋部地区】



【屋我地地区】



【久志地区】



※複数回答

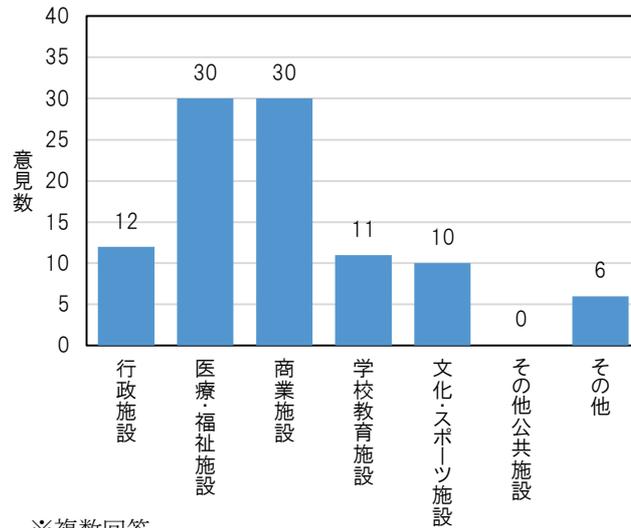
図 4-8 よく行く施設（文化・スポーツ施設）（地区別）

(2) 公共交通利用が不便な施設

1) 公共交通利用が不便な施設(施設分類別)

①. 施設分類別

公共交通利用が不便な施設を施設分類別にみると、医療・福祉施設および商業施設が顕著に多くなっている（いずれも 30 サンプル）。また、行政施設や学校教育施設、文化・スポーツ施設についても、10 サンプル程度の意見が認められる



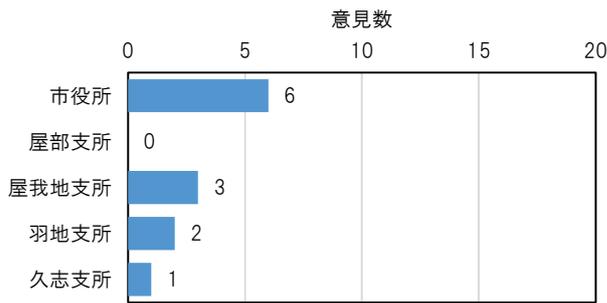
※複数回答

図 4-9 公共交通利用が不便な施設（施設分類別）

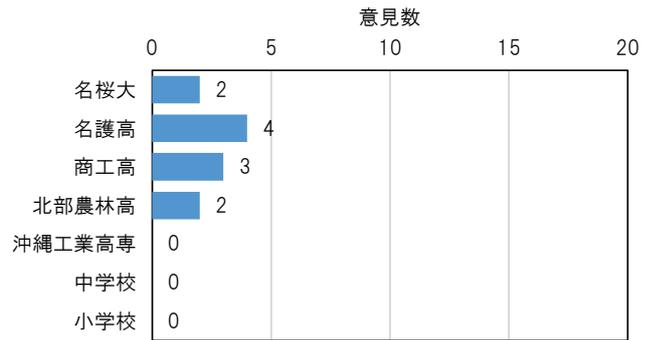
②. 個別施設別

公共交通利用が不便な施設を個別施設別にみると、北部地区医師会病院が最も多く（13 サンプル）、次いで県立北部病院（9 サンプル）が顕著に多くなっている。また、これらに次いでイオンやかねひでといった商業施設に対しても多くの意見が挙げられている（いずれも 7 サンプル）。

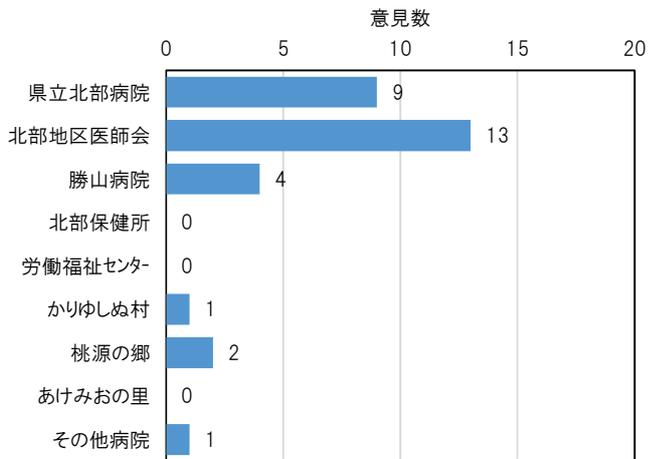
【行政施設】



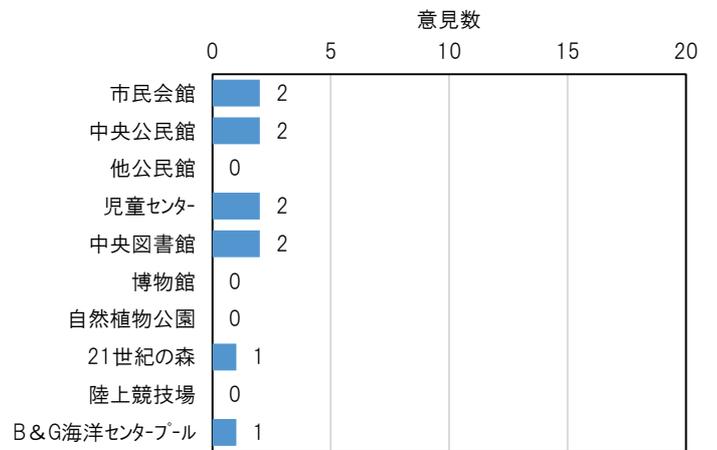
【学校教育施設】



【医療・福祉施設】



【文化・スポーツ施設】



【商業施設】



※複数回答

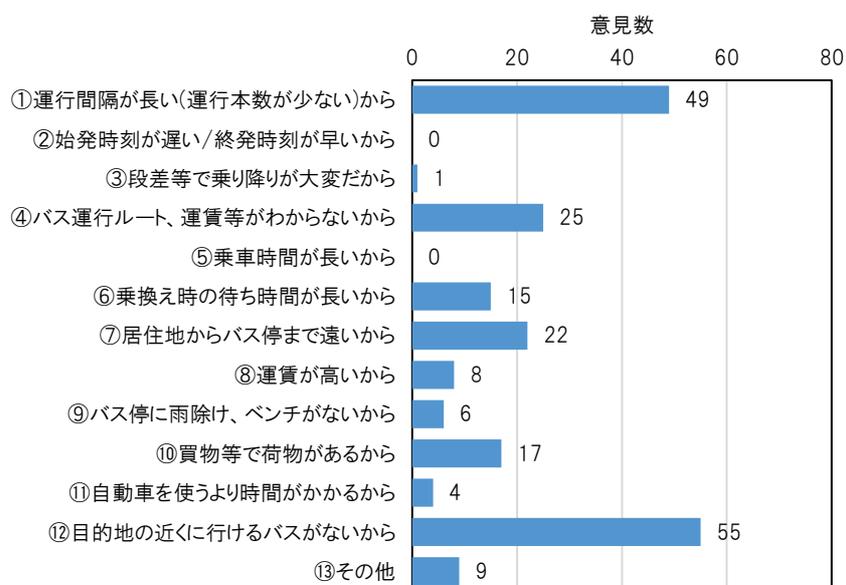
図 4-10 公共交通利用が不便な施設（個別施設別）

2) 公共交通利用が不便な理由

①. 全体

公共交通利用が不便な理由をみると、「⑫目的地の近くに行けるバス路線がないから」が最も多く（55 サンプル）、次いで「①運行間隔が長い（運行本数が少ない）」（49 サンプル）となっており、運行ルートや運行本数に対する意見が多くなっている。

また、「④バス運行ルート、運賃等がわからないから」（26 サンプル）の意見も多く認められる。



※複数回答

図 4-11 公共交通利用が不便な理由

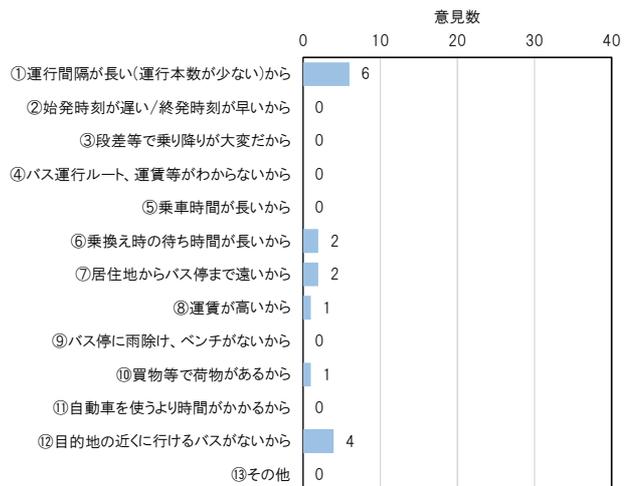
②. 個別施設別

公共交通利用が不便な理由を、個別施設別にみると、市役所や県立北部病院、北部地区医師会病院では「①運行間隔が長い（運行本数が少ない）」が最も多くなっている。一方、イオンやサンエー、マックスバリュといった商業施設では、「⑫目的地の近くに行けるバス路線がないから」が最も多く、次いで「①運行間隔が長い（運行本数が少ない）」となっている。

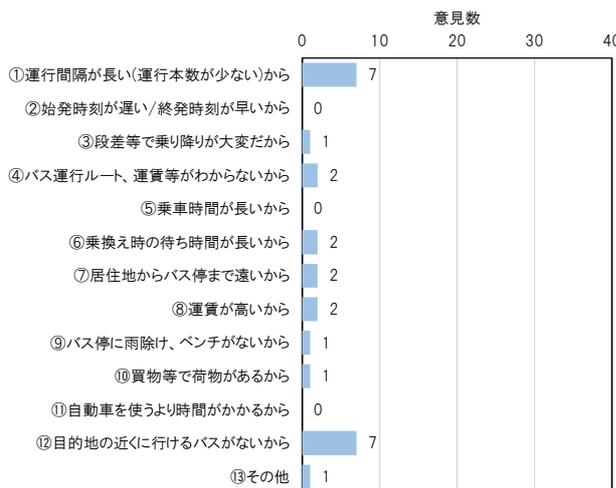
【市役所】



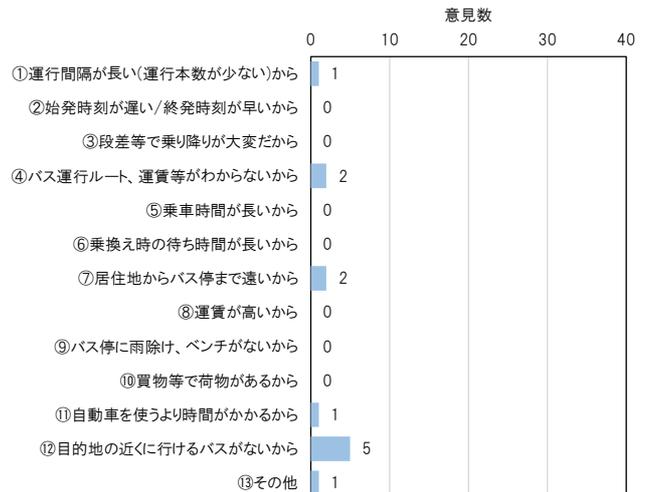
【県立北部病院】



【北部地区医師会病院】



【イオン】



※複数回答

図 4-12 公共交通利用が不便な理由（個別施設別）（その 1）

【サンエー】



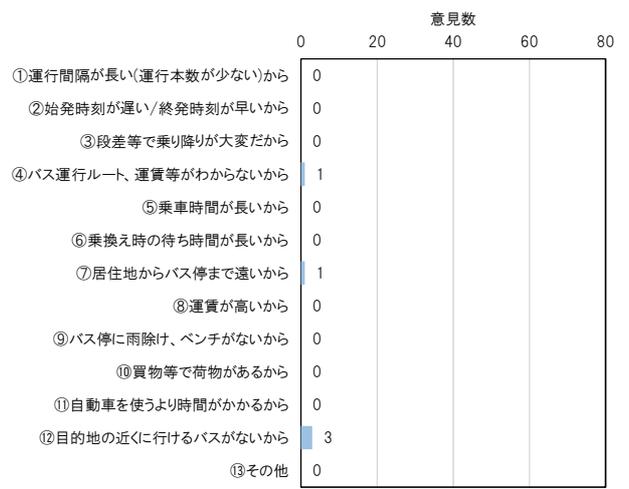
【マックスバリュ】



【かねひで】



【JAやんばる】



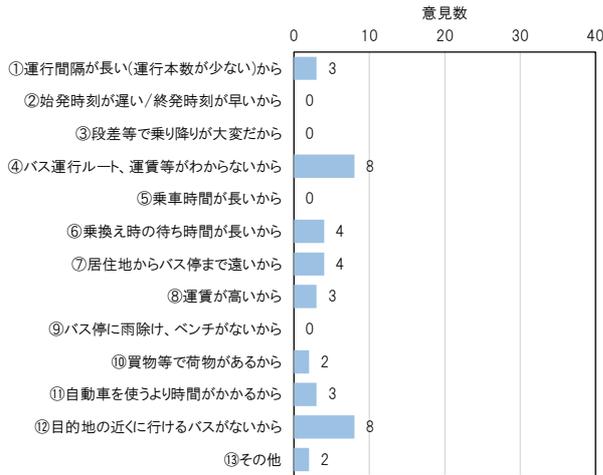
※複数回答

図 4-13 公共交通利用が不便な理由（個別施設別）（その2）

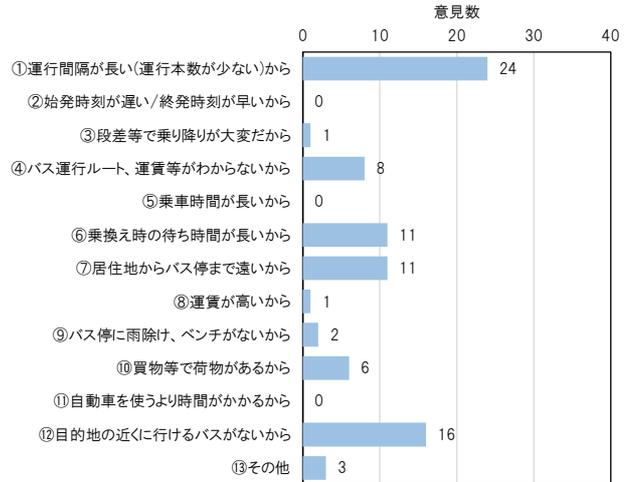
③. 地区別

公共交通利用が不便な理由を、地区別にみると、いずれの地区についても「⑫目的地の近くに行けるバス路線がないから」が比較的多く、特に久志地区や羽地地区で顕著となっている。また、久志地区や羽地地区では「①運行間隔が長い（運行本数が少ない）」についても多くなっている。さらに、名護地区や羽地地区などでは、「③バス運行ルート、運賃等がわからないから」や「⑥乗換え等の待ち時間が長いから」、「⑦居住地からバス停まで遠いから」といった意見も多くなっている。

【名護地区】



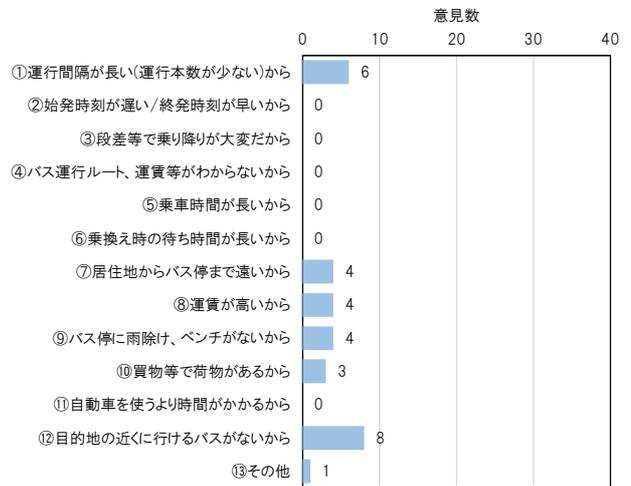
【羽地地区】



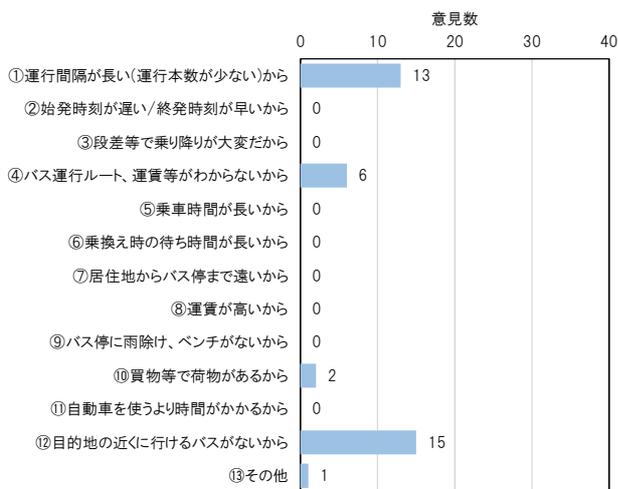
【屋部地区】



【屋我地地区】



【久志地区】



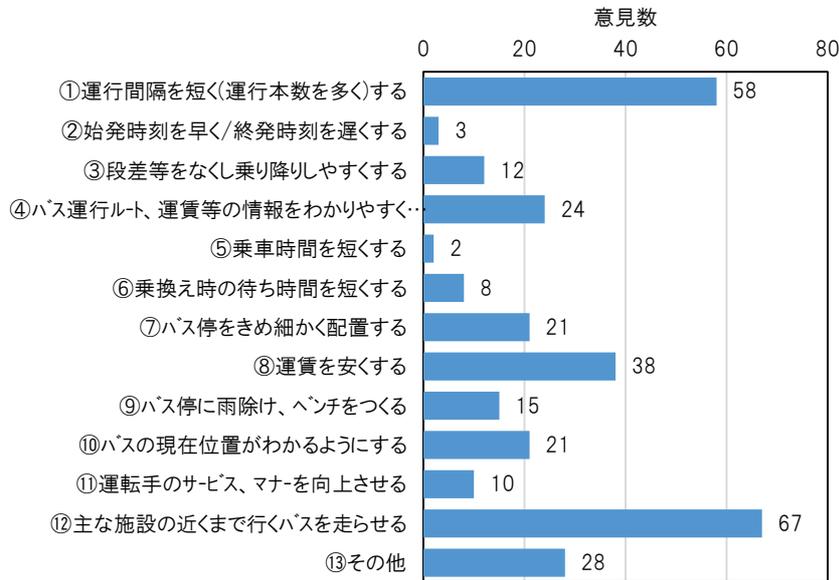
※複数回答

図 4-14 公共交通利用が不便な理由(地区別)

(3) 公共交通の利用促進策

①. 全体

公共交通の利用促進策としては、前問の不便な理由に対応し、「⑫主な施設の近くまで行くバスを走らせる」、「①運行間隔を短く（運行本数を多く）する」が顕著に多くなっている。また、不便な理由ではあまりなかった「⑧運賃を安くする」、「④バス運行ルート、運賃等の情報をわかりやすくする」といった意見も多くなっている。



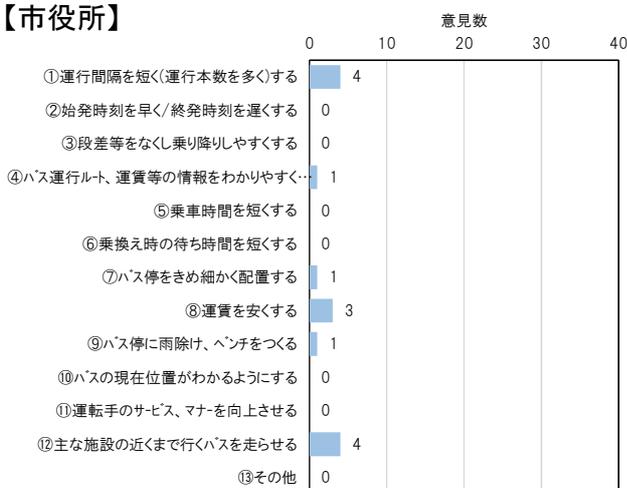
※複数回答

図 4-15 公共交通の利用促進策

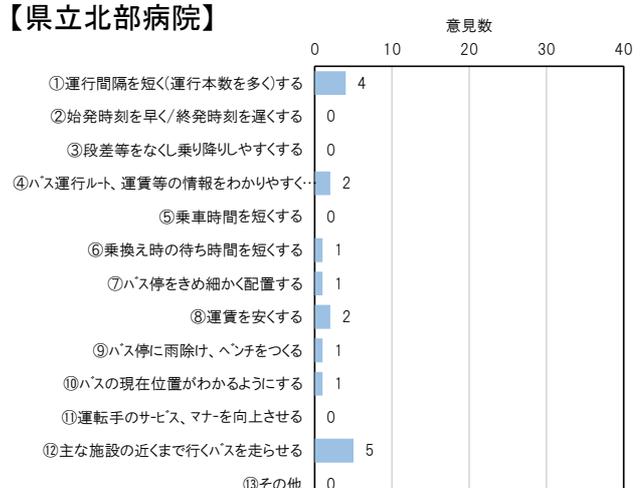
②. 個別施設別

公共交通利用が利用促進策を、個別施設別にみると、いずれの施設についても「⑫主な施設の近くまで行くバスを走らせる」、「①運行間隔を短く（運行本数を多く）する」が多く、特に顕著な差異は認められない。

【市役所】



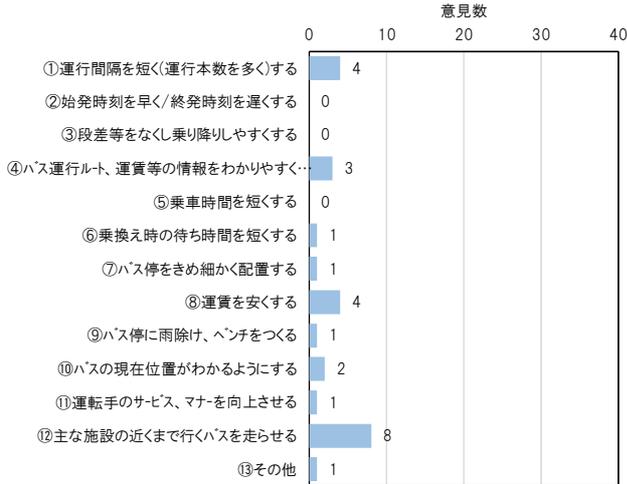
【県立北部病院】



※複数回答

図 4-16 公共交通の利用促進策（個別施設別）（その1）

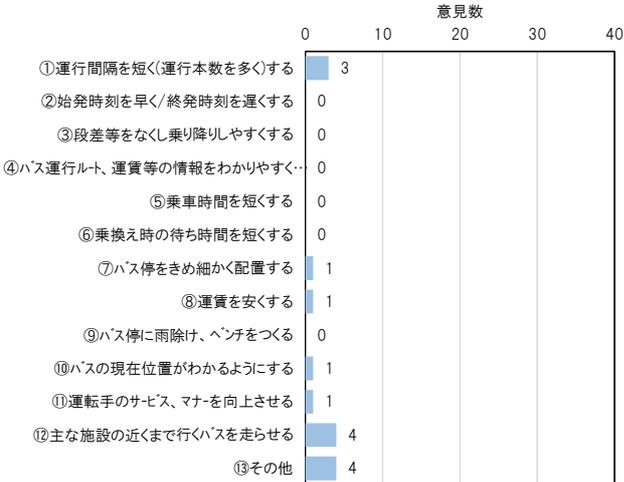
【北部地区医師会病院】



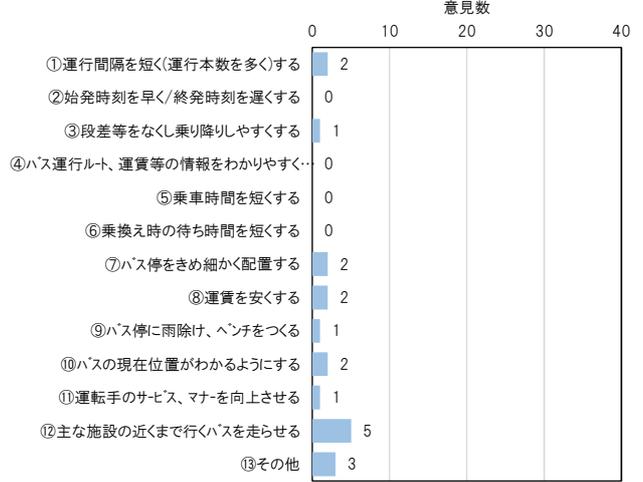
【イオン】



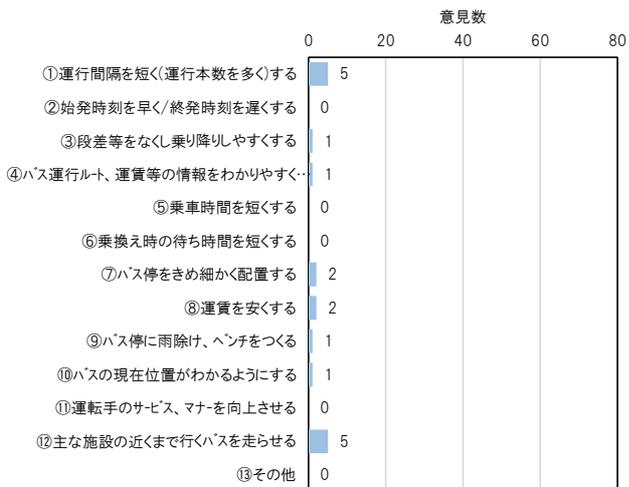
【サンエー】



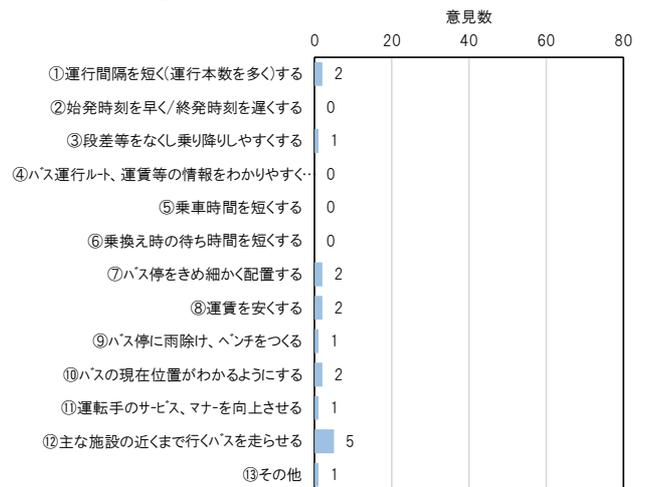
【マックスバリュ】



【かねひで】



【JAやんばる】



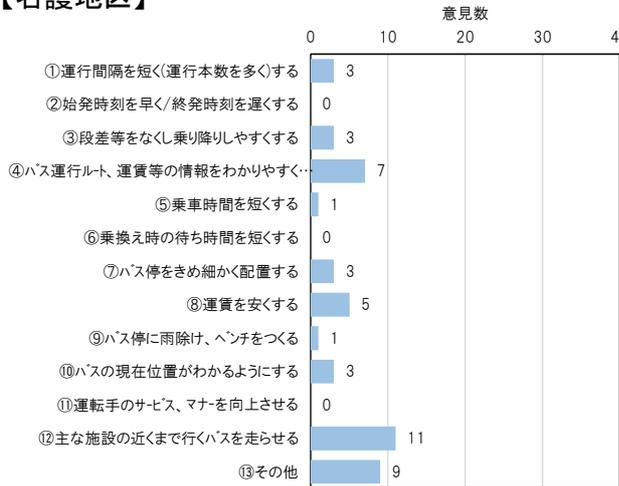
※複数回答

図 4-17 公共交通利用が不便な理由(個別施設別)(その2)

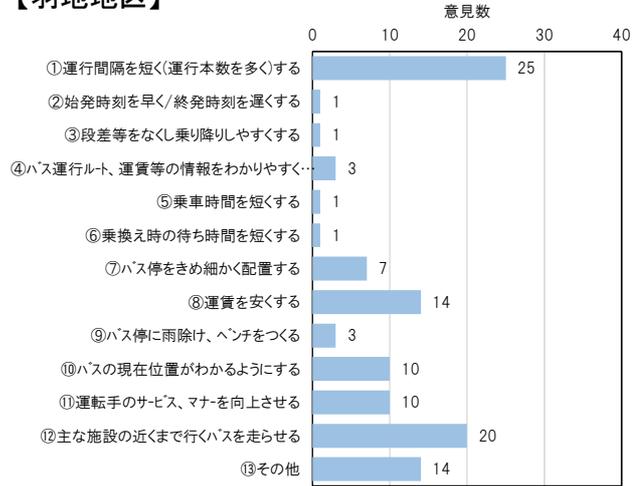
③. 地区別

公共交通利用が利用促進策を、地区別にみても、いずれの施設についても「⑫主な施設の近くまで行くバスを走らせる」、「①運行間隔を短く（運行本数を多く）する」が多くなっている。また羽地地区や屋我地地区では「⑧運賃を安くする」、久志地区では「④バス運行ルート、運賃等の情報をわかりやすくする」などが多くなっている。

【名護地区】



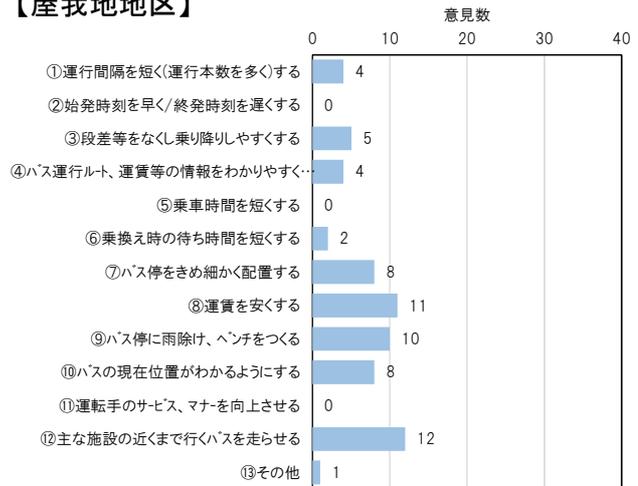
【羽地地区】



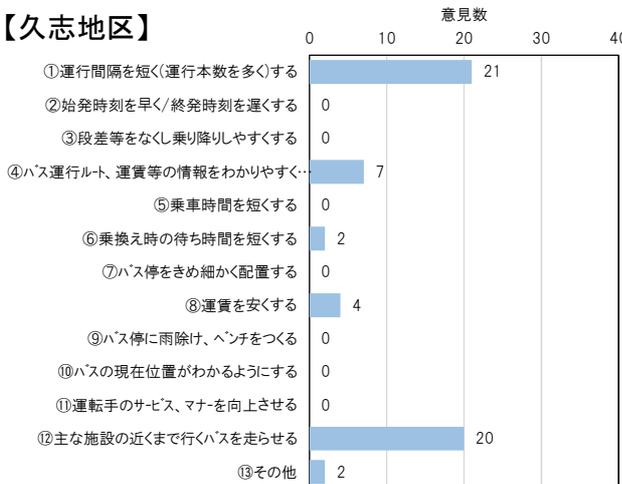
【屋部地区】



【屋我地地区】



【久志地区】



※複数回答

図 4-18 公共交通利用が不便な理由（地区別）

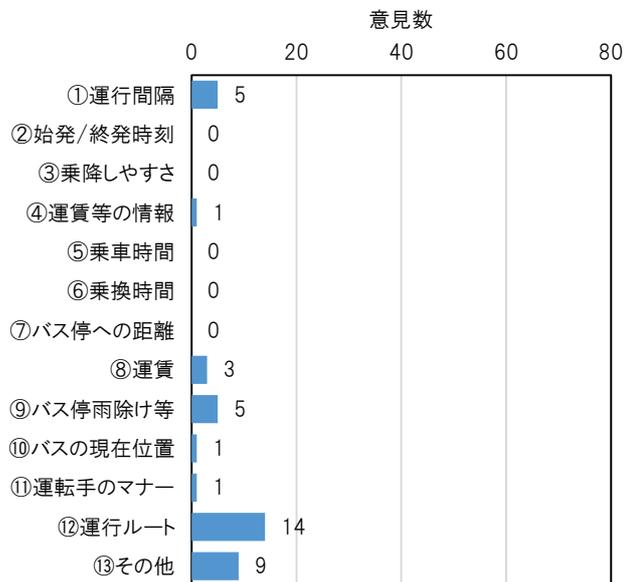
(4) 自由回答

自由回答をみると、「⑫運行ルート」についての意見が最も多く、次いで「①運行間隔」、「⑨バス停での雨除け等」についての意見が多くなっている。

なお、自由回答の一例を、以下に示す。

◆自由回答(例)

- 二見区以北について、有金名から大浦わんさかパークを拠点としたバスを運行する。
- バスのデマンド化
- 屋我地地区では、コミュニティバスが運航されていて月に 25 名程度が利用していて路線バスの利用者はほとんどいない。
- バスを小型化し、公民館をバス乗り場にする。待ち時間を公民館で過ごせるようにする。
- 路線バスを、幹線道路だけ運行するのではなく、街中等も走らせる。
- 時間帯によって、割引き運賃にする。
- 豊原地域では、ほとんど公共交通を利用していない。現状では、いつバスが来るのかわからない。住宅から遠いバス停まで行ってバスを利用するのは、通院や買物に行くときがほとんどであるが、病院の近くまで行かない、買物をして荷物があるので大変である。行き先や自宅近くまで自由に運行できるコミュニティバスが必要ではないか。公共交通では対応できないのではないか。



※複数回答

図 4-19 自由回答の内容

(5) まとめ

区長アンケート調査の結果をまとめると、次頁以降のとおりである。

1 実施概要

調査目的

○名護市の公共交通の将来を考える基礎データとするため、各区の住民の方の利用状況や公共交通に対する問題点や改善要望等の把握を目的とした。

調査対象者

○調査対象者は、名護市内における行政区（55区）の区長とした。

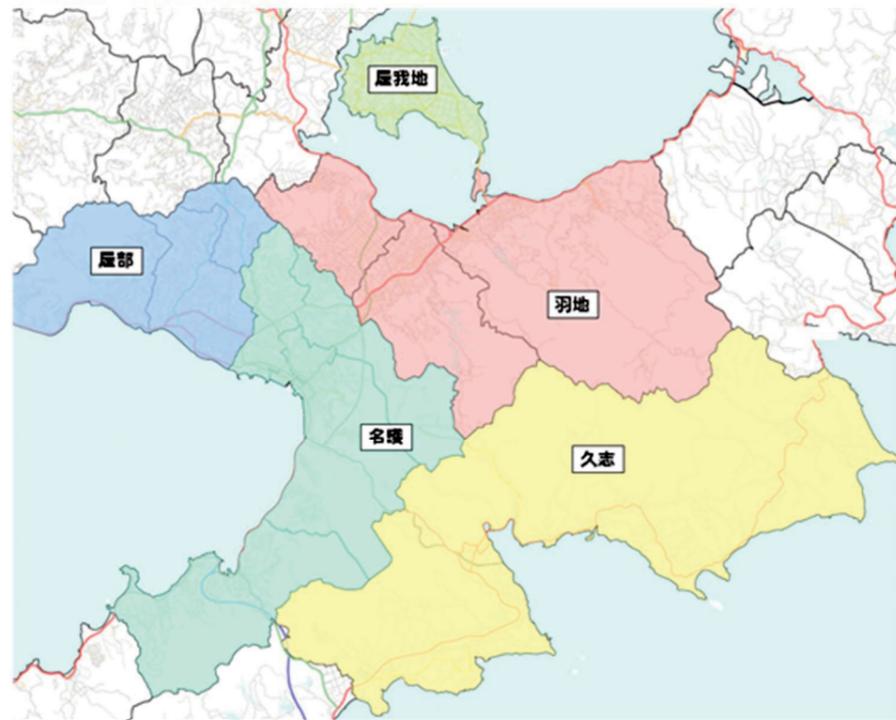
調査方法

- 直接配布・郵送回収
- 配布は、各支部区長会において、調査票(1通)を封入した調査用封筒を、各配布対象者に手渡すこととした。
- 調査期間：10月5日(木)～10月30日(月) ※11月24日(金)回収分までを集計

配布・回収状況

	配布数	回収数	回収率	備考
名護地区	15	10	66.7%	
羽地地区	15	10	66.7%	
屋部地区	7	3	42.9%	
久志地区	13	9	69.2%	
屋我地地区	5	5	100.0%	
合計	55	37	67.3%	区名不明分(3通)を含む

◆本検討における地区区分

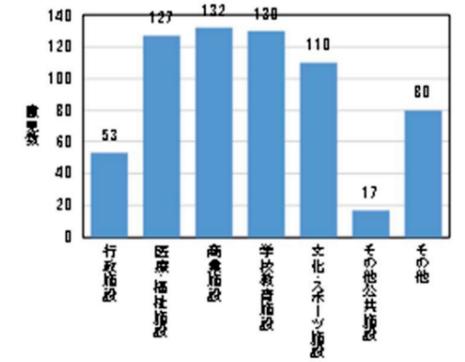


2 調査結果

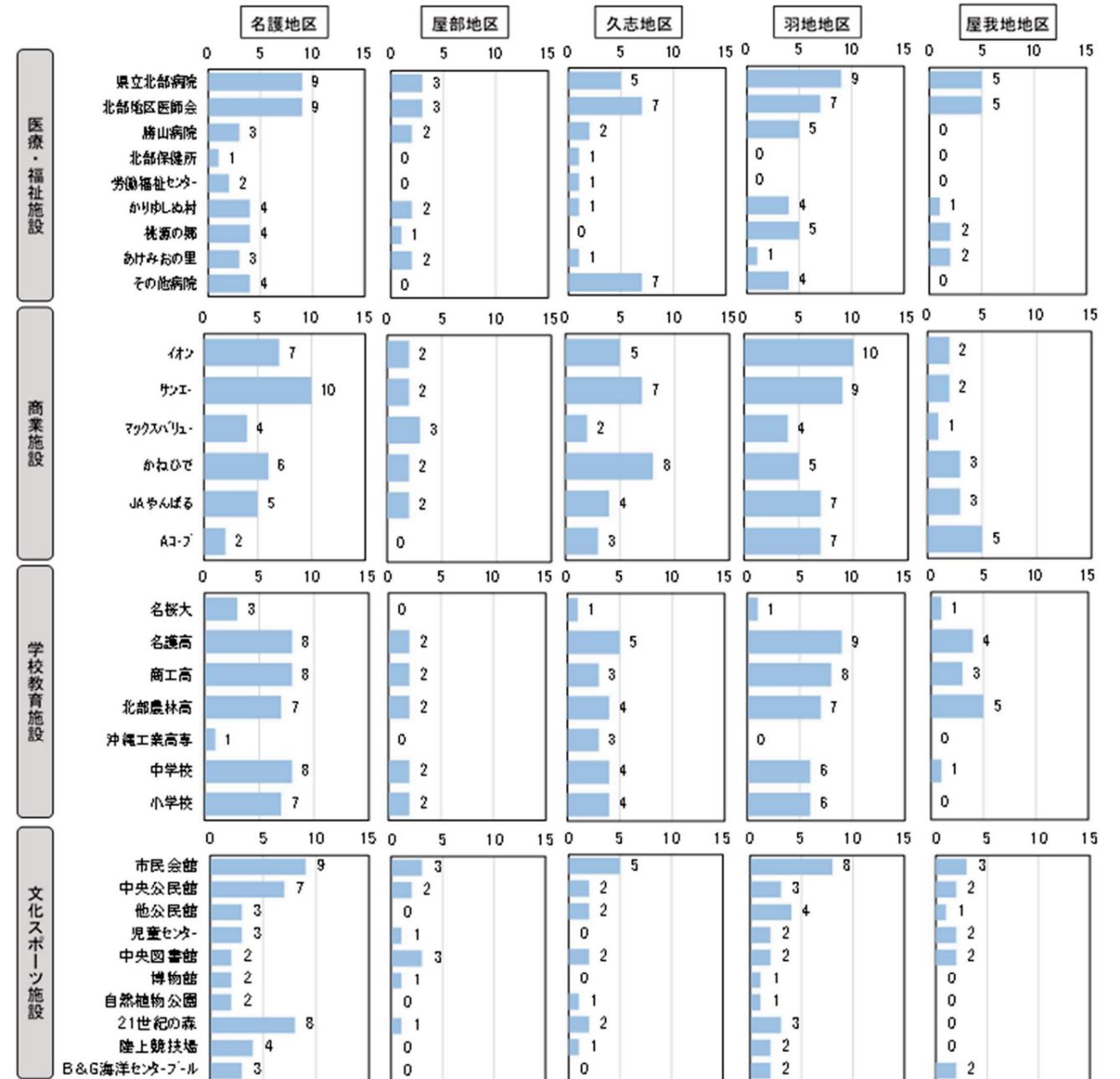
主な外出先

- 外出先としては、医療・福祉施設、商業施設、学校教育施設、文化スポーツ施設が多い。
- 地区に関わらず、以下の施設の利用が多い。
 【医療・福祉施設】県立北部病院、北部地区医師会病院
 【商業施設】イオン、サンエー、かねひで、JAやんばる
 【学校・教育施設】名護高校、名護商工高校、北部農林高校
 【文化・スポーツ施設】市民会館
- 名護地区での中央公民館、21世紀の森、羽地地区での勝山病院、屋我地地区でのAコープ等の外出が多く、特徴的といえる。

◆主な外出先（施設分類別）



◆主な外出先（施設分類別、地区別） ※横軸：意見数



公共交通が不便な施設とその理由

○公共交通が不便な施設としては、以下の施設への不満が多い。

【医療・福祉施設】北部地区医師会病院、県立北部病院

【商業施設】イオン、かねひで、サンエー、JAやんばる、マックスバリュ

○公共交通が不便な理由としては、以下のものが多い。

⑫目的地の近くに行けるバスがないから

①運行間隔が長い（運行本数が少ない）から

○施設別に不便な理由をみると、以下のものが多い。

【県立北部病院、北部地区医師会病院】 ①運行間隔が長い（運行本数が少ない）から

⑫目的地の近くに行けるバスがないから

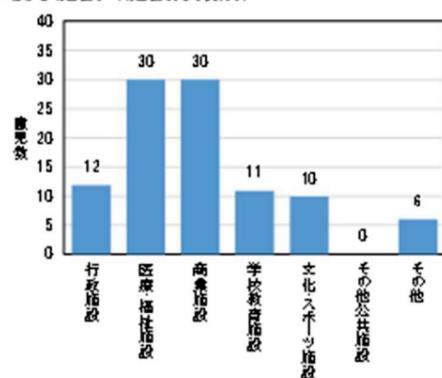
【イオン、サンエー、マックスバリュ、JAやんばる】 ⑫目的地の近くに行けるバスがないから

○地区別に不便な理由をみると、以下のものが多い。

【全地区（羽地地区を除く）】 ⑫目的地の近くに行けるバスがないから

【久志地区、羽地地区】 ①運行間隔が長い（運行本数が少ない）から

◆公共交通が不便な施設（施設分類別）



◆公共交通が不便な施設

商業施設



医療・福祉施設



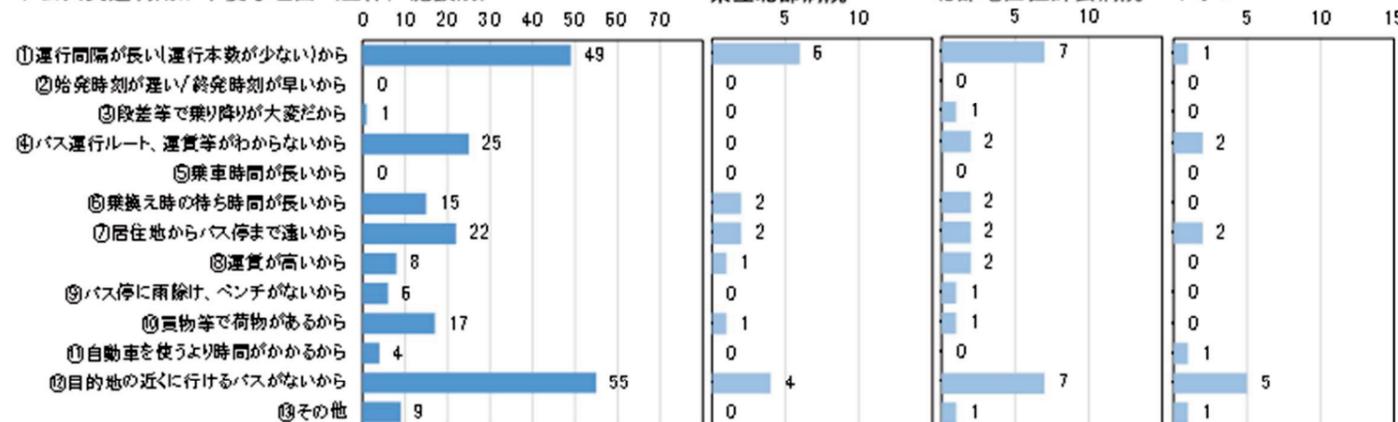
学校教育施設



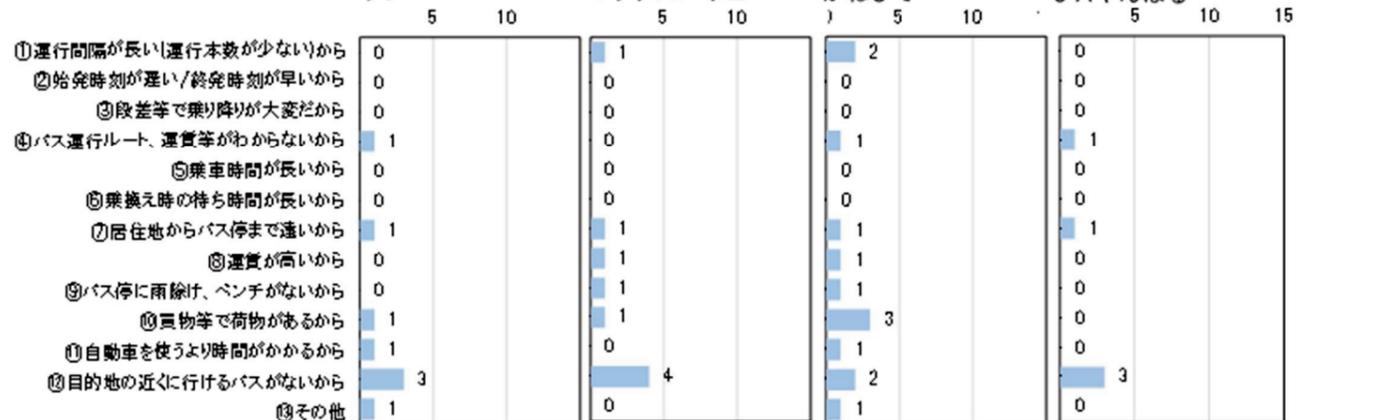
文化スポーツ施設



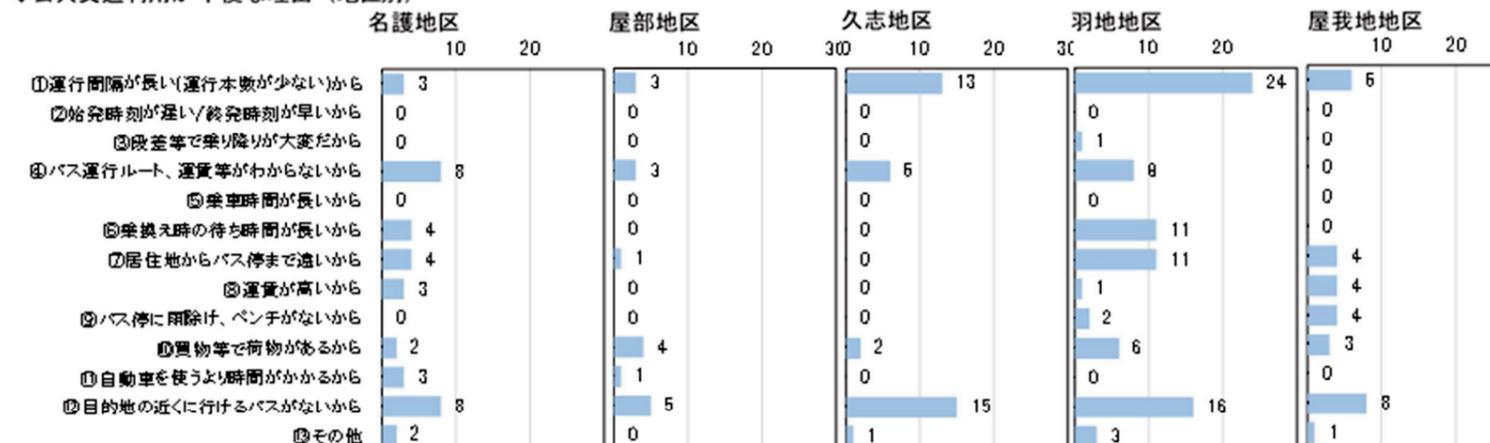
◆公共交通利用が不便な理由（全体、施設別）



◆公共交通利用が不便な理由（地区別）



◆公共交通利用が不便な理由（地区別）



公共交通の利用促進策

○公共交通の利用促進策としては、前問（公共交通が不便な理由）に対応し、以下の対策を挙げる意見が多い。

② 主な施設の近くまで行くバスを走らせる

① 運行間隔を短く（運行本数を多く）する

※上記のほか、③ 運賃を安くする、④ バス運行ルート、運賃等の情報をわかりやすくするも 多い。

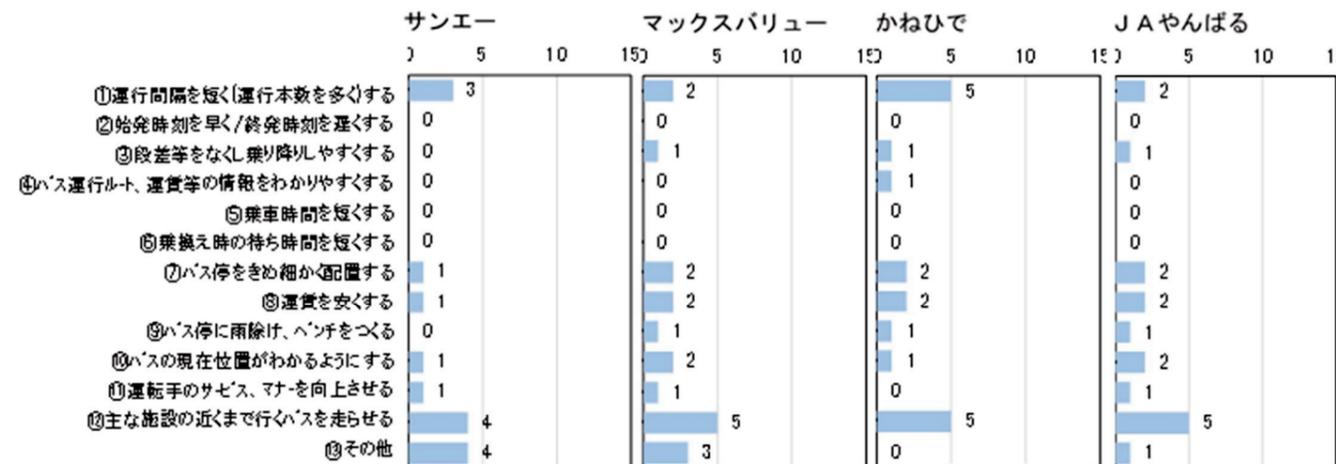
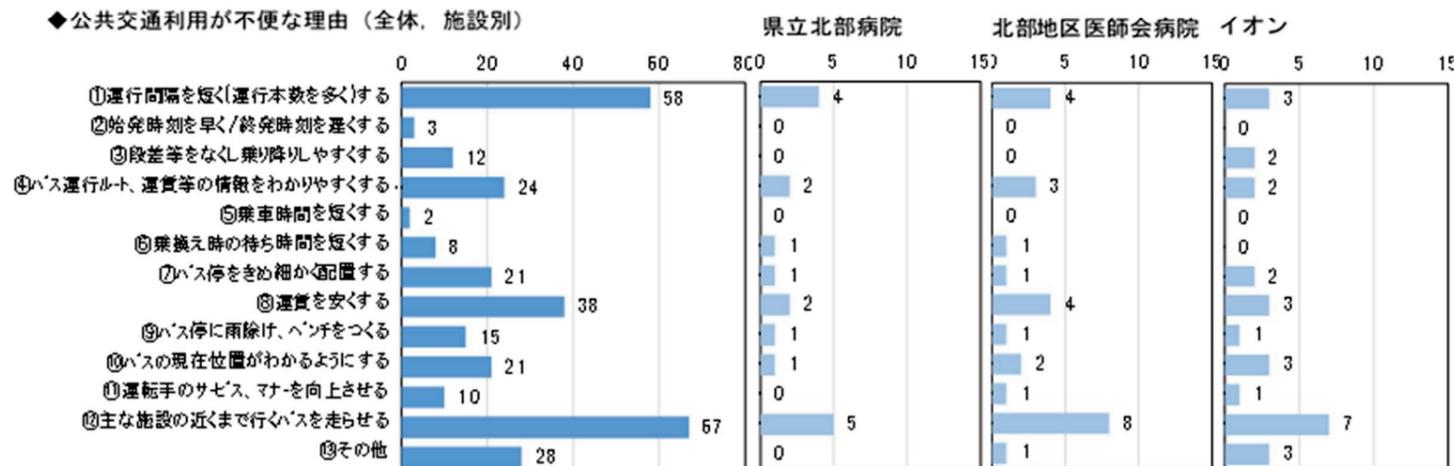
○施設別、地区別にみても、同様の傾向を示している。

ただし、地区によっては、以下の意見が多くなっている。

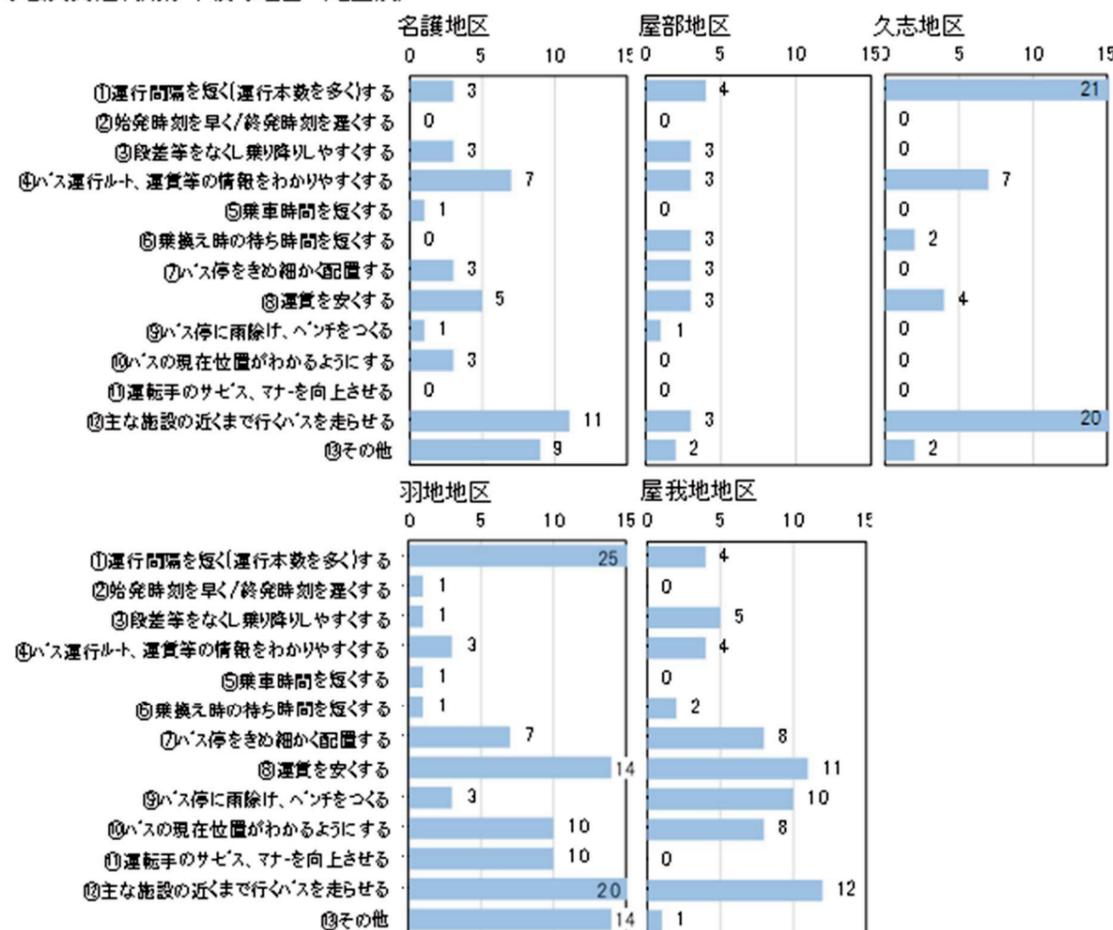
【久志地区】 ④ バス運行ルート、運賃等の情報をわかりやすくする

【羽地地区、屋我地地区】 ③ 運賃を安くする

◆公共交通利用が不便な理由（全体、施設別）



◆公共交通利用が不便な理由（地区別）



主な自由意見

○二見区以北について、有銘からわんさか大浦パークを拠点としたバスを運行する。

○豊原地域では、ほとんど公共交通を利用していない。現状では、いつバスが来るのかわからない。住宅から遠いバス停まで行ってバスを利用するのは、通院や買物に行くときがほとんどであるが、病院の近くまで行かない、買物をして荷物があるので大変である。行き先や自宅近くまで自由に運行できるコミュニティバスが必要ではないか。公共交通では対応できないのではないかな。

○屋我地地区では、コミュニティバスが運行されていて月に25名程度が利用していて路線バスの利用者はほとんどいない。

○バスのデマンド化

○バスを小型化し、公民館をバス乗り場にする。待ち時間を公民館で過ごせるようにする。

○路線バスを、幹線道路だけ運行するのではなく、街中等も走らせる。

○時間帯によって、割引運賃にする。

◆自由意見の内容分類

